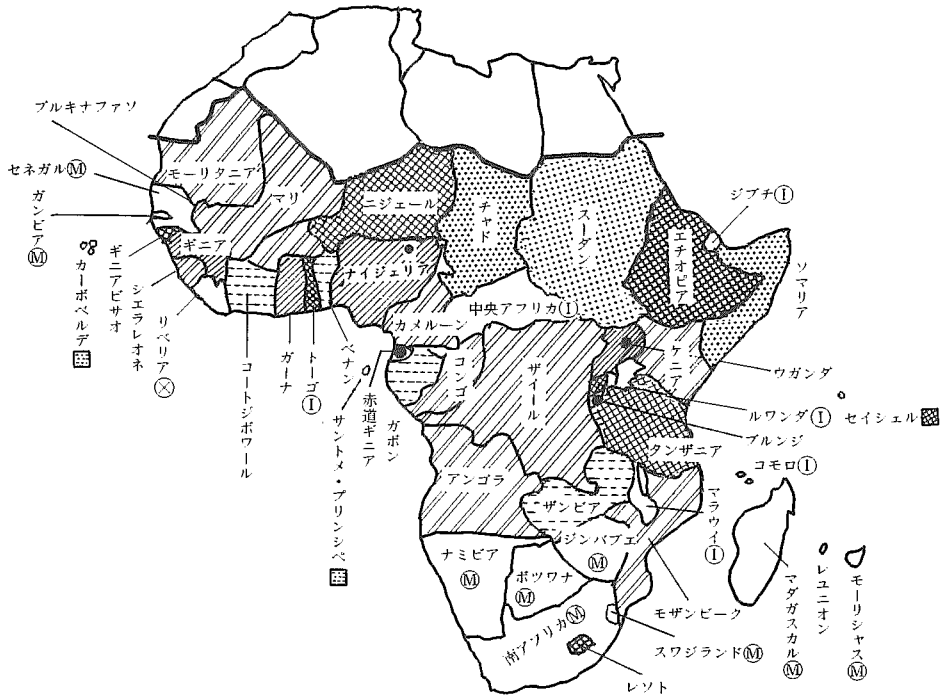


図解：アフリカの政治的民主化

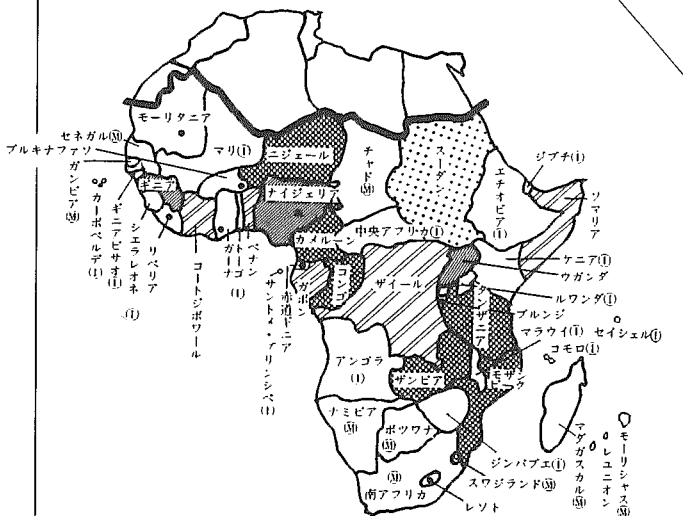
その2

(作成) 佐藤由利江・石崎えり子 (統計調査部)

民主化への動き (1989年12月～91年12月)



民主化への胎動? (1990年7月現在)



- ▨ 複数政党制移行決定後選挙を実施した国
- ▧ 複数政党制への移行を決定した国
- ▩ 複数政党制移行の可能性のでてきた国
- ▤ 軍政から民政移管を決定した国
- ▦ 軍事クーデターにより政権交代した国
- 1989年12月以後特に動きのなかった国とその政治体制
- ① 文民一党制 (M) 文民複数政党制
- 軍事政権 ⊗ 不確定
- (注) レユニオンはフランス植民地。

本誌 No.11 (1990年9月)。

政治的民主化の動き (1990年8月～91年12月)

| | | |
|------------|-------------|--|
| ベナン | (1990年12月) | 複数政党制を認める新憲法の国民投票実施。 |
| | (1991年3月) | 大統領選挙でケレク前大統領敗退。 |
| ブルキナファソ | (1991年6月) | 複数政党制を認める新憲法の国民投票を実施。 |
| | (1991年10月) | 大統領選挙で対立候補なく、コムパオレ大統領当選(投票率20%以下)。 |
| カーボベルデ | (1991年2月) | 複数政党制移行後初の大統領選挙でマスカレナス・モンティロが当選。 |
| コートジボワール | (1990年10月) | 複数政党制移行後初の大統領選挙実施、ウフェボワニ再選。 |
| ガーナ | (1990年12月) | ローリングス暫定国家防衛評議会議長が、1992年までに民政移管を約束。 |
| | (1991年8月) | 複数政党制を軸とした新憲法草案を審議する諮問会議招集。 |
| ギニアビサオ | (1991年1月) | 政党結成の自由、報道の自由等に関する法案を国民議会にて採択予定。準備期間として1993年1月までの2年を経たのち、自由選挙を実施の予定。 |
| マリ | (1991年3月) | 軍事クーデターでムサ・トラオレ大統領失脚。4月に諸政党承認。新憲法による大統領選挙、国民議会議員選挙を1992年3月実施の予定。 |
| モーリタニア | (1991年7月) | 新憲法制定により複数政党制に移行。 |
| ニジェール | (1991年11月) | 複数政党制移行を準備する過渡期の最高権力機関として、共和国高等評議会(HCR)成立。 |
| ナイジェリア | (1990年8月) | 軍事情権ババンギダ大統領、民政への移管準備として副大統領のポストの新設、軍司令官のポストの廃止を発表。 |
| | (1991年11月) | 総選挙に先がけてセンサス実施。1992年末までには2大政党制のもとでの総選挙、民政移管が行なわれる予定。 |
| セネガル | (1991年4月) | 首相ポスト新設。野党を含む挙国一致内閣成立。 |
| シエラレオネ | (1991年8月) | 国民投票で国民の大多数が複数政党制を支持。その後政党結成自由化。 |
| トーゴ | (1991年4～9月) | 複数政党制要求のデモが多発し、軍隊と衝突。6月にゼネスト。 |
| | (1991年9月) | 反エヤデマ大統領派のコフィゴを首相とする暫定内閣成立。 |
| カメルーン | (1990年12月) | 複数政党制法案、国民議会で可決。 |
| 中央アフリカ | (1991年9月) | コリンバ大統領、野党の国民会議開催の要求をしりぞける。 |
| チャド | (1990年12月) | イドリス・デビー司令官のクーデターでハブレ大統領失脚。 |
| コンゴ | (1990年9月) | コンゴ労働党(PCT)、中央委員会で複数政党制の採用決定。 |
| | (1991年6月) | 国民会議でサス・ンゲソ大統領から政府の長、軍司令官の権限を奪うことを決定。 |
| ガボン | (1990年10月) | 複数政党制移行後初の大統領選挙実施。野党議員や無所属議員を含む挙国一致内閣を組織。 |
| サントメ・プリンシペ | (1990年8月) | 複数政党制の可否を決定する国民投票を実施。1991年3月に大統領選挙実施。 |
| ザイール | (1990年10月) | 政党の数の制限を撤廃すると発表。 |
| | (1991年8月) | 第3共和制移行のための「国民会議」開催。 |
| エチオピア | (1991年5月) | メンギスツ政権崩壊。 |
| ケニア | (1991年11月) | モイ大統領、複数政党制を要求する集会を弾圧。パリ援助国会議で次期援助額の提示が延期される。 |
| | (1991年12月) | 憲法改正により、複数政党制に移行。 |
| セイシェル | (1991年4月) | 複数政党制の可否を問う国民投票の実施を決定。 |
| ソマリア | (1991年1～3月) | 統一ソマリア会議(USC)等反政府勢力の共闘によるクーデター。USC、アリ・マハディ・モハメド暫定大統領の就任を発表。 |
| スーダン | (1991年8月) | 「救国革命」政府、クーデター計画が発覚したとして、多数の軍人政治家を逮捕。 |
| アンゴラ | (1990年12月) | アンゴラ解放人民運動・労働党(MPLA-PT)、全国大会で独立以来の単一政党制度放棄を決定。 |
| | (1991年5月) | アンゴラ和平会議で、複数政党制に基づく国会議員選挙実施を約束する和平協定に調印。 |
| レソト | (1990年11月) | 軍事クーデターにより、王政廃止。 |
| | (1991年4月) | レカーニャ軍評議会議長、軍のクーデターにより失脚。ラマエマ軍評議会新議長、1992年6月までに複数政党制による議会選挙を実施するとのレカーニャ前議長の公約を再確認。 |
| マダガスカル | (1991年12月) | 反ラツィラカ大統領派、野党を含む暫定内閣成立。 |
| モザンビーク | (1990年11月) | 人民議会が複数政党制を定めた新憲法を採択。1992年に議会選挙の予定。 |
| ザンビア | (1990年12月) | カウンダ大統領が複数政党制の導入を目的とする憲法第4条廃止のための改正法案に署名。 |
| | (1991年10月) | 国民議会選挙および大統領選挙実施。カウンダ敗北。 |
| 南アフリカ共和国 | (1991年12月) | 民主南アフリカ会議開催。 |